

令和8年3月17日14時00分
近畿地方整備局 淀川河川事務所
阪神電気鉄道株式会社

阪神なんば線淀川橋梁改築事業の工事状況について

淀川下流域では、洪水を安全に流下させること及び高潮時の安全性確保を目的として、阪神なんば線淀川橋梁の架替を、近畿地方整備局と阪神電気鉄道(株)との共同事業として実施しております。

このたび、阪神なんば線淀川橋梁改築事業における橋梁製作工事のうち、淀川左岸側のトラス橋の一部区間において、溶接不良が確認されたため、再製作・再架設を行うことになりました。

これに伴い、現在、再製作・再架設に伴う工事工程については、阪神電気鉄道(株)において精査しているところです。

上記の阪神電気鉄道(株)の精査結果を踏まえ、近畿地方整備局淀川河川事務所においても、事業期間への影響について精査を行っていきます。

※溶接不良に起因する再製作・再架設については、阪神電気鉄道(株)と製作受注者が調整しており、これに伴い発生する費用については、製作受注者が負担することで、合意しております。

※事業進捗状況については、以下、淀川河川事務所のHPをご参照下さい。

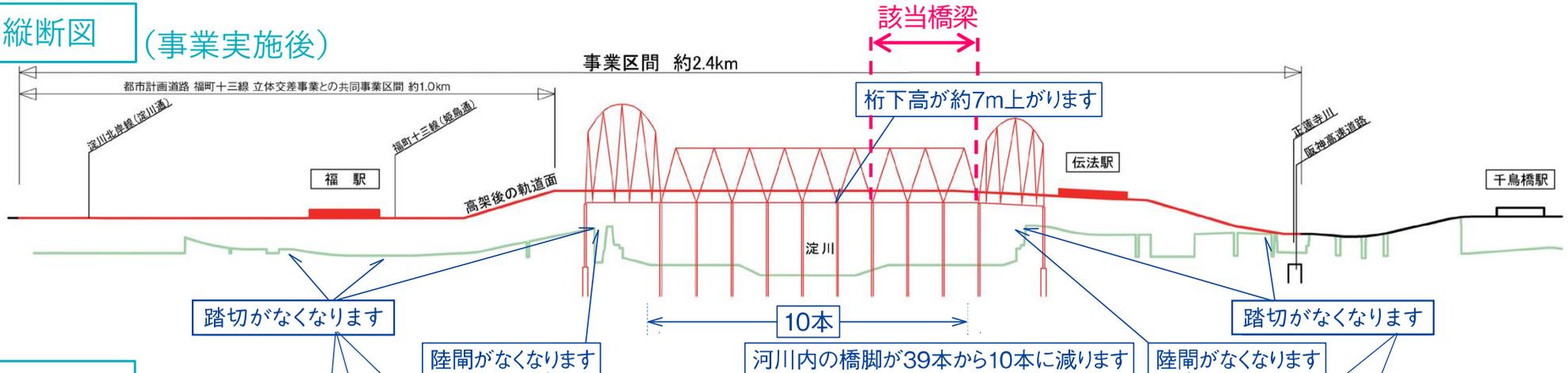
<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/comit/bd083b00000031ki.html>

— 阪神なんば線淀川橋梁改築事業 事業概要 —



- 現在の阪神なんば線淀川橋梁は、河川内に39本と多くの橋脚があり、桁下高が低いため、洪水の流れを阻害し、大規模な洪水が発生した際には、橋梁の堰上げにより、上流で堤防が決壊する恐れがあります。また、橋梁部分は堤防を切り込む形になっており、高潮時には陸閘を閉鎖することで浸水被害を回避している状況です。
- 橋梁の改築により橋脚数を減らし、桁下高を上げることで洪水を安全に流下させるとともに、陸閘をなくす事で高潮時の安全性を確保する事が出来ます。

縦断図 (事業実施後)



平面図

